

平成26年1月28日

消費生活用製品の重大製品事故に係る公表について

消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づき報告のあった重大製品事故について、以下のとおり公表します。

- | | |
|---|----|
| 1. ガス機器・石油機器に関する事故 （うち石油ストーブ（開放式）1件、石油給湯機付ふろがま1件） | 2件 |
| 2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、 製品起因が疑われる事故 （うち電気洗濯機2件、充電式カイロ（充電器機能付）1件） | 3件 |
| 3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、 製品起因か否かが特定できていない事故 （うちテーブルタップ1件、エアコン（室外機）1件） | 2件 |
| 4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議（※） において、審議を予定している案件 該当案件無し | |

1. ～ 4. の詳細は別紙のとおりです。

※正式名称は「消費者安全調査委員会製品事故情報専門調査会及び消費経済審議会製品安全部会製品事故判定第三者委員会合同会議」という。

5. 留意事項

これらは消費生活用製品安全法第35条第1項の規定に基づく報告内容の概要であり、現時点において、調査等により事実関係が確認されたものではなく、事故原因等に関し、消費者庁として評価を行ったものではありません。

本公表内容については、速報段階のものであり、今後の追加情報、事故調査の進展等により、変更又は削除される可能性があります。

6. 特記事項

(1) 株式会社千石が輸入し、株式会社グリーンウッドが販売した石油ストーブ（開放式） について（管理番号A201300726）

① 事故事象について

株式会社千石が輸入し、株式会社グリーンウッドが販売した石油ストーブ（開放式）を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、2名が負傷しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、当該製品のカートリッジタンクの蓋（口金キャップ）が閉まったと誤認し、カートリッジタンクを出し入れする際に蓋が外れ、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2010年（平成22年）9月1日に新聞社告の掲載及びウェブサイトへ情報を掲載し、その後、販売店を通じダイレクトメールの送付、店内告知等を行うことにより注意喚起及び蓋の部品を変更（ネジ式に変更）したカートリッジタンクとの無償交換を実施しています。

なお、今回の事故を受け、対象製品について更なる無償交換を呼び掛けるため取組を強化することとしています。

③ 対象製品等：ブランド、機種・型式、対象販売時期、対象台数

| ブランド | 機種・型式 | 対象販売時期 | 対象台数 |
|---------|------------|-------------------------|---------|
| グリーンウッド | GKP-S241N | 2009年9月 ～ 2010年3月 | 35,449台 |
| | GKP-M2401N | | 2,433台 |
| | GKP-W301N | | 3,373台 |
| アラジン | AKP-U28A | | 754台 |
| | AKP-S280 | | 7,553台 |
| | AKP-S300 | | 314台 |
| 合計 | | | 49,876台 |

2010年（平成22年）9月1日からリコール実施
改修率 29.5%（2013年11月30日現在）

対象製品の
外観
GKP-S241N



GKP-M2401N



GKP-W301N



AKP-U28A



AKP-S280



AKP-S300



当該対象製品のカートリッジタンク
交換が必要である当該対象製品（石油ストーブ）に付属の
カートリッジタンクは、蓋（口金キャップ）がオレンジ色です。
(交換前)



ネジ式のカートリッジタンクは、蓋（口金キャップ）が緑色です。

なお、カートリッジタンクの交換時に、本体内に設置されているカートリッジタンクをセットするために必要な部品である給油タンク受（樹脂製）も白色のものから灰色のものに同時に交換します。

（交換後）



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

（問合せ先）

株式会社千石、株式会社グリーンウッド（グリーンウッドブランド製品）

及び日本エー・アイ・シー株式会社（アラジンブランド製品）

電話番号：0120-15-1059

受付時間：9時～19時（土・日・祝日を除く。）

ウェブサイト：株式会社千石 <http://www.sengoku.jp.co.jp/>

株式会社グリーンウッド <http://www.gwgw.co.jp/>

日本エー・アイ・シー株式会社 <http://www.aladdin-aic.com/>

⑤消費者庁及び独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）の対応

電気ストーブや石油ストーブ・石油温風暖房機等の暖房機器のリコール未対策品についても火災事故が発生しているため、消費者庁では、2013年（平成25年）12月25日に「リコール製品による火災等の事故再発防止について－お持ちではありませんか？回収・無償改修等が未対応の暖房機器等－」をウェブサイトに掲載し、リコール製品をお持ちの場合、まずは使用を中止し、事業者によるリコール情報（回収・無償改修等の内容）を御確認いただき、事業者に連絡いただくよう呼び掛けを行っています。

また、独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）においては、2011年（平成23年）2月18日より事故防止のための注意喚起チラシ「ガス・石油ストーブのリコール製品をお持ちではありませんか？」をウェブサイトに掲載し、注意喚起を行っています。

（消費者庁による注意喚起）

ウェブサイト：http://www.caa.go.jp/safety/pdf/131225kouhyou_2.pdf

（独立行政法人製品評価技術基盤機構（NITE）による注意喚起）

ウェブサイト：http://www.nite.go.jp/jiko/leaflet/data/recall_stove_110218.pdf

(2)ハイアールジャパンセールス株式会社が輸入した電気洗濯機について
(管理番号A201300722)

①事象について

ハイアールジャパンセールス株式会社が輸入した電気洗濯機を使用中、異音がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していました。当該事故の原因は、現在、調査中です。

②当該製品のリコール（無償点検・部品交換）について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、当該製品のモーター用コンデンサの製造工程において、異物が混入していたため、使用中に徐々に絶縁劣化を起こし、破損に至った可能性があることから、事故の再発防止を図るため、2010年（平成22年）11月12日にウェブサイトへ情報を掲載するとともに、ダイレクトメールの送付により使用者に対し注意喚起を実施しました。

その後、2012年（平成24年）9月21日にプレスリリース、同年9月22日に新聞社告の掲載を行い、2013年（平成25年）9月12日から電話連絡を行うことにより、対象製品について無償点検・部品交換（コンデンサの交換）を呼び掛けています（三洋ハイアール株式会社（2007年3月解散）が輸入した電気洗濯機も含まれます。）。

なお、今般報告のあった当該事故（管理番号A201300722）が上記の事象によるものかどうかは現時点では不明です。

③対象製品等：機種・型式、製造番号、対象販売期間、対象台数

| 機種・型式 | 製造番号 | 対象販売期間 | 対象台数 | 確認方法 |
|--|---|-----------------------|---------|------|
| JW-Z20A | 全て対象 | 2002年4月 ～2005年10月 | 12,600台 | A |
| BW-Z20A BW-Z20B | 全て対象 | 2002年4月 ～2003年3月 | 4,320台 | |
| JW-Z23A | 全て対象 | 2002年10月 ～2005年10月 | 19,080台 | |
| JW-Z45A | 全て対象 | 2003年1月 ～2004年7月 | 16,480台 | |
| JW-Z50A JW-Z50B JW-Z50C JW-Z50D | 全て対象 | 2003年11月 ～2005年11月 | 42,628台 | |
| JW-K33A | E100001～E102484 F100001～F103036 G100001～G100552 | 2005年3月 ～2008年8月 | 6,072台 | |
| JW-K50B | E100001～E100800 F100001～F109280 | 2005年3月 ～2008年8月 | 10,080台 | |
| JW-K50C | E100001～E101440 F100001～F115840 | 2005年11月 ～2007年3月 | 17,280台 | |

| | | | | |
|----------|-----------------|----------------------|----------|---|
| HSW-23M1 | 全て対象 | 2003年1月 ～2003年3月 | 6,580台 | B |
| HSW-233M | 全て対象 | 2003年1月 ～2004年5月 | 2,160台 | |
| HSW-50S1 | 全て対象 | 2002年5月 ～2003年8月 | 40,719台 | |
| HSW-50S2 | 全て対象 | 2003年5月 ～2005年12月 | 54,720台 | |
| HSW-50S3 | 全て対象 | 2004年10月 ～2006年5月 | 82,887台 | |
| HSW-50S5 | 2200001～2213800 | 2006年5月 ～2007年2月 | 13,800台 | C |
| 合 計 | | | 329,406台 | |

2010年（平成22年）11月12日からリコールを実施
改修率 10.2%（平成25年12月31日現在）

対象製品の外観（写真はJW-Z45A）



対象製品の確認方法：

- 1) 確認方法 A (販売元がハイアールジャパンセールス株式会社の製品)
 定格銘板で下記の型式及び製造番号を御確認ください。

Haier
全自動電気洗濯機
JW-Z45A (50/60Hz用)

- 標準水量 41L
- 標準使用水量 117L
- 標準脱水容量 4.5kg
- 外形寸法 幅 537mm
奥行 508mm
高さ 895mm

| | | | | |
|---------------|-----|-----|-----|-----|
| 水位 | 10 | 6 | 4 | 1 |
| 洗濯容量 (・以下) | 4.5 | 2.0 | 1.0 | 0.5 |
| 水量(L) | 41 | 33 | 27 | 15 |

定格消費電力 345/390W (50/60Hz)

■使用上の注意
 1. 電源は必ずコンセントからとること。
 2. 周囲に間隔をおいて設置すること。
 3. ベンジン・灯油・シンナー・ガソリンなどのついたものは、洗濯や脱水をしないでください。

2003年製 MADE IN CHINA

ハイアールジャパンセールス株式会社
 大阪市天王寺区生玉前町3番25号タマダビル10F

配線図

| | |
|---|--|
| <p>ハイアールジャパンセールス株式会社</p> <p>定格電圧 100V 定格周波数 50/60Hz 定格消費電力 345/390W 標準洗濯容量 4.5kg 定格時間(標準コース) 41分 定格時間(時短コース) 19分</p> | <p>製造番号</p> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold; border: 1px solid red; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block;">C 100000</p> |
|---|--|

- 2) 確認方法 B (販売元が三洋ハイアール株式会社の製品)
 操作パネル上の製品品番又は定格銘板で型式を御確認ください。

操作パネル上の製品品番を確認



- 3) 確認方法C (販売元が三洋ハイアール株式会社の製品)
当該製品の背面又は側面の定格銘板で型式及び製造番号を御確認ください。

| | | |
|---|----------------|-----|
| Haier | | |
| 全自動電気洗濯機 | | |
| HSW-50S5 | 50-60Hz用 JET | |
| 定格電圧・周波数 | 100V・50/60Hz | |
| 定格消費電力 | 345/390W | |
| 標準洗濯容量 | 5.0kg | |
| 定格時間 | 標準コース | 48分 |
| | 洗いのみ | 23分 |
| 製造番号 | 0000000 | |
| 回路図 | | |
| 三洋ハイアール株式会社  | | |
| <small>MADE IN CHINA</small> | | |

④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちで、まだ事業者の行う無償点検・部品交換を受けていない方は、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(ハイアールジャパンセールス株式会社の問合せ先)

電話番号：0120-865-123

受付時間：9時～17時(土・日・祝日を除く。)

ウェブサイト：<http://www.haierjapan.com/support/index.html>

(3) シャープ株式会社が製造した電気洗濯機について（管理番号A201300725）

①事象について

シャープ株式会社が製造した電気洗濯機及び周辺を焼損する火災が発生しました。
当該事故の原因は、現在、調査中ですが、運転中の振動により、モーターと制御基板中継コネクター間のモーターリード線が断線して短絡が起こり、防音緩衝材に着火、焼損したものと考えられます。

②再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2002年（平成14年）4月3日にプレスリリース及びウェブサイトへ情報を掲載するとともに、複数回にわたる新聞社告の掲載、販売店を通じたダイレクトメールの送付等により注意喚起を行い、対象製品について無料点検・改修（リード線の配線方法を変更し、防音緩衝材を難燃性に変更）を実施しています。

また、同社は、平成25年3月7日に同社の会員登録を通じたメールマガジンでリコール情報の案内を行い、更に、同年3月末から順次、リニューアルしたチラシを同社製品全般の修理依頼があった際に配布するとともに、全国の消費者センターへ配布を行い、引き続き注意喚起及び無償改修を呼び掛けています。

③対象製品等：会社名、機種・型式、対象製造期間、対象台数

| 会社名 | 機種・型式 | 対象製造期間 | 対象台数 |
|---------|--|---------------------------|----------|
| シャープ（株） | ES-42DS、ES-L42、ES-G42JN、ES-D42JN、ES-SL42Y、ES-J42UP、ES-DS42、ES-YA42、ES-K42、ES-F4AUP、ES-B43、ES-S4A、ES-H42、ES-DB42、ES-SL42Y2、ES-JN42、ES-F4A | 1998年11月 ～ 1999年12月 | 205,163台 |
| （株）良品計画 | ES-R42A | | |

2002年（平成14年）4月3日からリコールを実施
改修率 40.8%（平成25年12月31日現在）

対象製品の外観

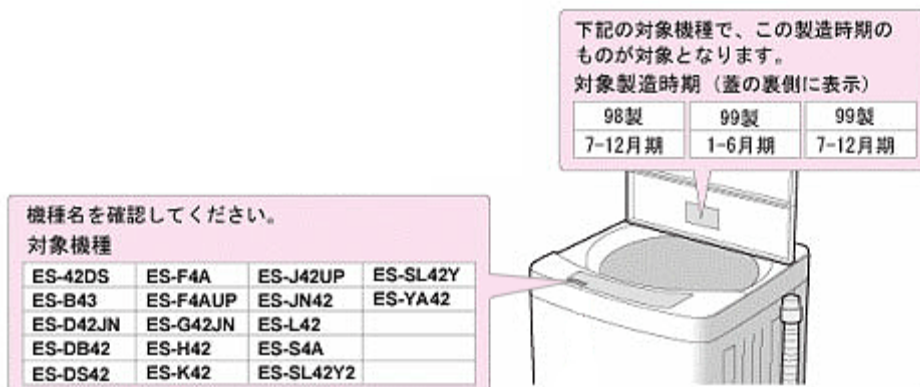
（写真はES-JN42、ES-YA42と外観はほぼ同じ）



対象製品の確認方法

＜販売元がシャープ株式会社の製品＞

当該製品の蓋の裏に表示されている「製造時期」と本体上面操作部に表示されている「機種名」を御確認ください。



＜販売元が株式会社良品計画の製品＞

当該製品の蓋の裏に「製造時期」と「水位（水量）別洗濯容量」が表示されています。洗濯容量が4.2kgで、上記の製造時期のものが対象になります。



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちの方で、まだ事業者の行う無償点検・改修を受けていない方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

（シャープ株式会社の問合せ先）

電話番号：0120-404660

受付時間：9時～18時（月曜～土曜）

9時～17時（日曜・祝日）

ウェブサイト：<http://www.sharp.co.jp/support/anounce/es42x.html>

(4) 株式会社イデアインターナショナルが輸入した充電式カイロ（充電器機能付）について（管理番号A201300728）

① 事故事象について

株式会社イデアインターナショナルが輸入した充電式カイロ（充電器機能付）をかばんの中に入れていたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生しました。

当該事故の原因は、現在、調査中ですが、リチウム電池内部の傷や異金属の混入により異常発熱し、出火に至ったものと考えられます。

② 再発防止策について

同社は、当該製品を含む対象機種（下記③）について、事故の再発防止を図るため、2014年（平成26年）1月24日からウェブサイトへ情報を掲載するとともに、販売店を通じチラシ配布等を行い、対象製品について製品回収・返金を実施しています。

また、同年1月31日に新聞社告を掲載し、使用者に製品回収・返金を呼び掛けることにしています。

③ 対象製品等：製品名、機種・型式、対象販売期間、対象台数

| 製品名 | 機種・型式 | 対象販売期間 | 対象台数 |
|---------------|--|-------------------------------|---------|
| 3WAYハンディウォーマー | BDE014-CLAU BDE014-TATU BDE014-LUCK BDE014-LESL | 2013年9月25日 ～ 2014年1月23日 | 14,200台 |

対象製品の外観



④消費者への注意喚起

対象製品をお持ちの方は、直ちに使用を中止し、速やかに下記問合せ先まで御連絡ください。

(株式会社アイデアインターナショナルの問合せ先)

電話番号：0120-99-5076470

受付時間：10時～17時

ウェブサイト：http://idea-in.com/index.php?pg=news_detail&am=850

(本発表資料の問合せ先) 消費者庁消費者安全課

(製品事故情報担当) 担当：大木、長井、清重

電話：03-3507-9204 (直通)

FAX：03-3507-9290

(ハイアールジャパンセールス株式会社が輸入した電気洗濯機についての発表資料に関する問合せ先)

(シャープ機株式会社が製造した電気洗濯機についての発表資料に関する問合せ先)

(株式会社アイデアインターナショナルが輸入した充電式カイロ (充電器機能付) についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室

担当：水野、角田、中谷 電話：03-3501-1707 (直通)

FAX：03-3501-2805

(株式会社千石が輸入し、株式会社グリーンウッドが販売した石油ストーブ (開放式) についての発表資料に関する問合せ先)

経済産業省商務流通保安グループ製品安全課製品事故対策室

担当：水野、長沼、山田 電話：03-3501-1707 (直通)

FAX：03-3501-2805

1. ガス機器・石油機器に関する事故(製品起因か否かが特定できていない事故を含む)

| 管理番号 | 事故発生日 | 報告受理日 | 製品名 | 機種・型式 | 事業者名 | 被害状況 | 事故内容 | 事故発生日都道府県 | 備考 |
|------------|------------|------------|-------------|----------------------------|------------------------------------|------------|--|-----------|--|
| A201300726 | 平成26年1月12日 | 平成26年1月24日 | 石油ストーブ(開放式) | GKP-W301N(株式会社グリーンウッドブランド) | 株式会社千石(株式会社グリーンウッドブランド) (輸入事業者) | 火災 軽傷2名 | 当該製品を使用中、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生し、2名が負傷した。事故原因は、現在、調査中であるが、当該製品のカートリッジタンクの蓋(口金キャップ)が閉まったと誤認し、カートリッジタンクを出し入れする際に蓋が外れ、漏れた灯油に引火し、火災に至ったものと考えられる。 | 宮崎県 | 平成22年9月1日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 29.5% 1月23日に消費者安全法の重大事故等として公表済 |
| A201300727 | 平成26年1月11日 | 平成26年1月24日 | 石油給湯機付ふろがま | JIB-7SG | 株式会社長府製作所 | 火災 | 当該製品を使用中、当該製品を焼損し、周辺を汚損する火災が発生した。現在、原因を調査中。 | 栃木県 | 製造から20年以上経過した製品 1月23日に消費者安全法の重大事故等として公表済 |

2. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因が疑われる事故

| 管理番号 | 事故発生日 | 報告受理日 | 製品名 | 機種・型式 | 事業者名 | 被害状況 | 事故内容 | 事故発生日都道府県 | 備考 |
|------------|------------|------------|----------------|-------------|------------------------------|------|--|-----------|---|
| A201300722 | 平成26年1月14日 | 平成26年1月23日 | 電気洗濯機 | JW-Z45A | ハイアールジャパンセールス株式会社 (輸入事業者) | 火災 | 当該製品を使用中、異音がしたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。現在、原因を調査中。 | 東京都 | 平成22年11月12日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 10.2% |
| A201300725 | 平成26年1月3日 | 平成26年1月23日 | 電気洗濯機 | ES-YA42 | シャープ株式会社 | 火災 | 当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故原因は、現在、調査中であるが、運転中の振動により、モーターと制御基板中継コネクタ間のモーターリード線が断線して短絡が起こり、防音緩衝材に着火、焼損したものと考えらる。 | 愛知県 | 製造から10年以上経過した製品 平成14年4月3日からリコールを実施(特記事項を参照) 改修率 40.8% |
| A201300728 | 平成26年1月12日 | 平成26年1月24日 | 充電式カイロ(充電器機能付) | BDE014-CLAU | 株式会社イデアインターナショナル (輸入事業者) | 火災 | 当該製品をかばんの中に入れていたところ、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生した。事故原因は、現在、調査中であるが、リチウム電池内部の傷や異金属の混入により異常発熱し、出火に至ったものと考えられる。 | 福岡県 | 平成26年1月24日からリコールを実施(特記事項を参照) 1月23日に消費者安全法の重大事故等として公表済 |

3. ガス機器・石油機器以外の製品に関する事故であって、製品起因か否かが特定できていない事故

| 管理番号 | 事故発生日 | 報告受理日 | 製品名 | 被害状況 | 事故内容 | 事故発生都道府県 | 備考 |
|------------|-----------|------------|-----------|------|---|----------|----|
| A201300723 | 平成26年1月3日 | 平成26年1月23日 | テーブルタップ | 火災 | 当該製品に複数の電気製品を接続して使用中、異音が生じたため確認すると、当該製品を焼損する火災が発生していた。当該製品の使用状況を含め、現在、原因を調査中。 | 福岡県 | |
| A201300724 | 平成26年1月5日 | 平成26年1月23日 | エアコン(室外機) | 火災 | 異音が生じたため確認すると、当該製品及び周辺を焼損する火災が発生していた。当該製品から出火したのか、他の要因かも含め、現在、原因を調査中。 | 愛媛県 | |

4. 製品起因による事故ではないと考えられ、今後、製品事故調査判定合同会議において審議を予定している案件

該当案件無し